

# SANOスプリント報告書 -第2版-



**スプリントはSANOだ！**

**一般社団法人SANOスプリント**

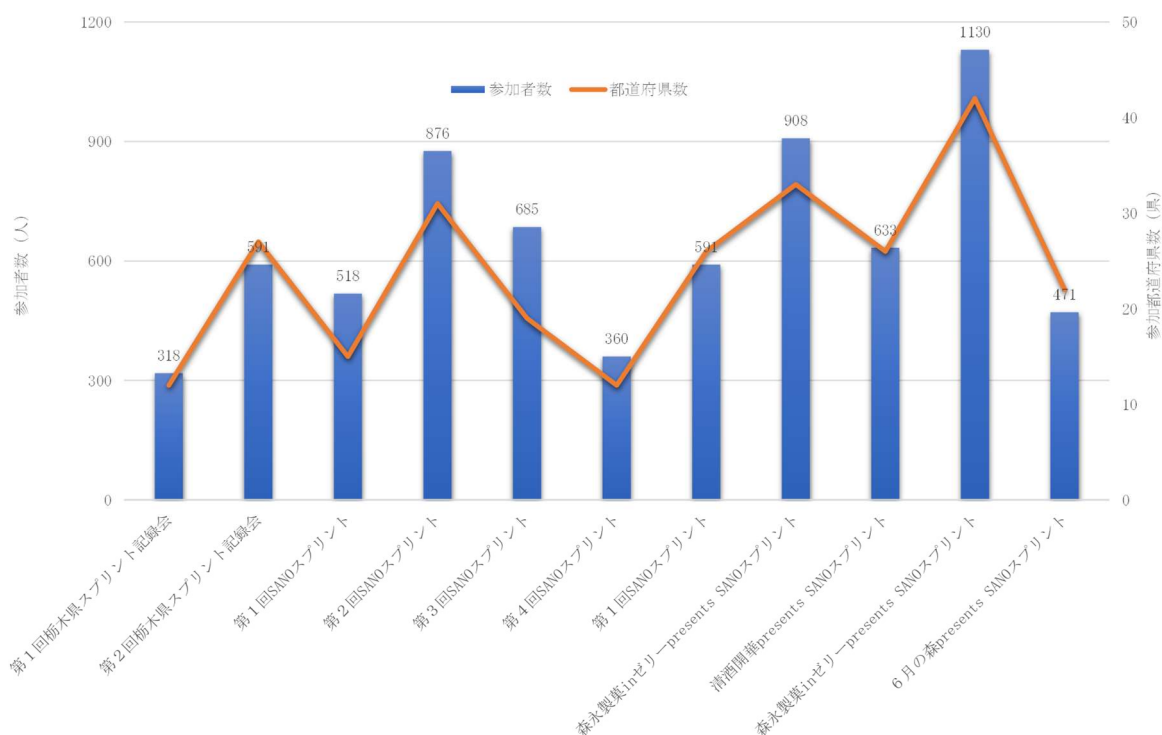
## 1. はじめに

一般社団法人 SANO スプリントでは、2021 年度から日本陸連公認競技会を開催しています。短距離種目に特化した競技会である「SANO スプリント (旧栃木県スプリント記録会)」をはじめ、走・跳・投すべての種目を展開する「SANO トワイライトゲームズ」、中長距離種目を実施する「SANO ミドルロングディスタンス」や混成種目の競技会である「SANO コンバインド」など、時期やメインとなる競技者層を想定し様々な形式の競技会を実施してきました。

《短距離特化型競技会》	《総合競技会》
2021年 第1回栃木県スプリント記録会 第2回栃木県スプリント記録会	2023年SANOトワイライトゲームズ <u>2024年SANOトワイライトゲームズ</u>
2022年 第1回SANOスプリント 第2回SANOスプリント 第3回SANOスプリント 第4回SANOスプリント	《長距離競技会》 2022年SANOミドルロングディスタンス 2023年SANOミドルロングディスタンス 2024年SANOミドルロングディスタンス
2023年 第1回SANOスプリント 森永製菓inゼリーpresents SANOスプリント SANO公認100m記録会	《混成競技会》 2023年SANOコンバインド 2024年SANOコンバインド
2024年 <u>清酒開華presents SANOスプリント</u> <u>森永製菓inゼリーpresents SANOスプリント</u> <u>6月の森presents SANOスプリント</u>	※_____は世界陸連が定める ワールドランキング対象大会(WRK)

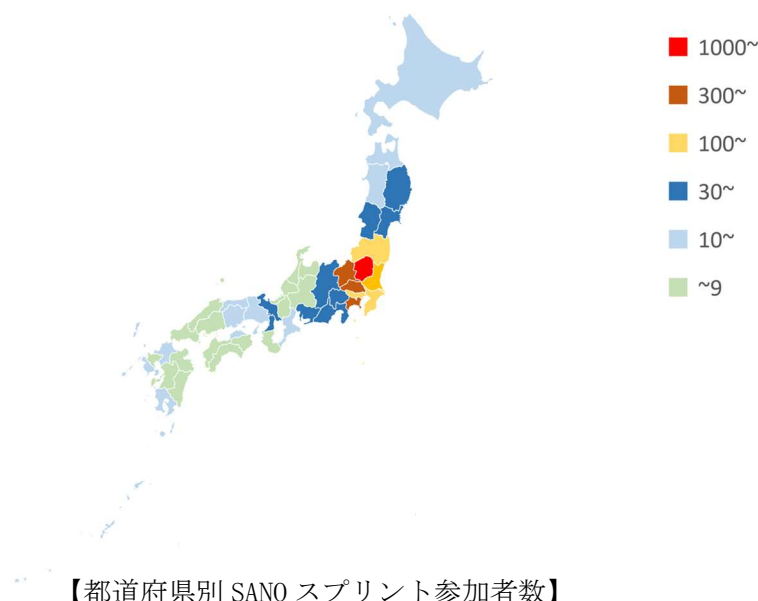
### 【一般社団法人 SANO スプリント主催公認競技会】

主催競技会の中でも、短距離特化型競技会・「SANO スプリント」は特に参加者数が多く、全国各地からのエントリーがあります。



【SANO スプリントの参加者数および参加都道府県数推移】

SANO スプリントの参加者数は全 11 大会で約 7,000 人を数えます。また、全 47 都道府県からの参加があり、11 大会全てに参加している県が 6（栃木、茨城、群馬、埼玉、神奈川、千葉）、10 大会参加が 2（東京、福島）、9 大会参加が 2（新潟、山形）と続きます。北海道や沖縄からの参加も複数回を数え、全国各地から競技者が集結しているといえます。



大会開催当初から「記録が出やすい競技会」と評判をいただき、これまでに数多くのオリンピック・パラリンピック・デフリンピック・世界選手権等の日本代表選手に出場していただきました。

オリンピック（リオ大会）の銀メダリストである山縣亮太選手（SEIKO）をはじめ、デフリンピック金メダリストの佐々木琢磨選手（仙台大 TC）やパラリンピックメダリスト・入賞者である佐藤圭太選手（トヨタ自動車）や高桑早生選手（NTT 東日本）、パリ五輪に出場した地元・栃木県の佐藤風雅選手（当時那須環境、現ミズノ）や東田旺洋選手（関彰商事）、など世界的な選手が SANO スプリントを駆け抜け、圧巻のパフォーマンスを発揮してくださっています。

選手	所属（当時）	日本代表選手としての主な戦績
石川 周平	富士通	世界陸上（2022, オレゴン）
今泉 堅貴	TeamSSP	世界陸上（2023, ブタペスト）
井本 佳伸	東京ガスエコモ	世界陸上（2019, ドーハ）
ウォルシュ ジュリアン	富士通	オリンピック（2021, 東京）、世界陸上（2022, オレゴン） 4位
宇野 勝翔	順天堂大	アジア大会（2023, 杭州）銀メダル
小椋 健司	エイジェック	世界陸上（2023, ブタペスト）（2022, オレゴン）
九鬼 巧	NTN	オリンピック（2012, ロンドン）
小南 拓人	染めQ	オリンピック（2021, 東京）
佐々木 琢磨	仙台大学TC	デフリンピック（2022, カシアスドスル）金メダル
佐藤 圭太	トヨタ自動車	パラリンピック（2016, リオ）銅メダル、（2012, ロンドン） 4位
佐藤 風雅	那須環境	オリンピック（2024, パリ）世界陸上（2022, オレゴン） 4位
佐藤 凌	タカトミ	世界陸上（2019, ドーハ）
相馬 絵里子	関彰商事	東アジア大会（2013, 天津）銀メダル
高桑 早生	NTT東日本	パラリンピック（2024, パリ） 5位（2021, 東京） 8位（2016, リオ） 5位
デーデーブルーノ	SEIKO	オリンピック（2021, 東京）
寺田 明日香	ジャパンクリエイト	オリンピック（2021, 東京）
中島 佑気ジョセフ	東洋大	オリンピック（2024, パリ）世界陸上（2022, オレゴン） 4位
東田 旺洋	関彰商事	オリンピック（2024, パリ）
水久保 漱至	第一酒造	世界陸上（2023, ブタペスト）
山縣 亮太	SEIKO	オリンピック（2021, 東京）（2016, リオ）銀メダル、
山下 潤	ANA	オリンピック（2021, 東京）

【SANO スプリント主催大会出場日本代表選手一覧】

大会当日も好条件に恵まれることが多く、各種目において好記録が誕生しています。上位記録はどの種目も日本トップレベルの水準であるといえます。特に男子 100m は参加者数が多くハイレベルな選手が多数集まりやすい傾向にあり、同じ組に日本代表経験のある選手が複数並んで競技することも珍しくありません。

種目	順位	記録	氏名	所属	陸協	期日
男子100m	1	10.10	東田 旺洋	関彰商事	茨城	2023/8/26
	2	10.16	宇野 勝翔	オリコ	東京	2024/8/17
	3	10.20	草野 誓也	AccelTC	千葉	2024/4/27
男子200m	1	20.69	山下 潤	ANA	東京	2024/4/27
	2	20.72	佐藤 風雅	那須環境	栃木	2022/8/11
	3	20.93	若菜 敬	佐野高校	栃木	2024/4/27
男子110mH	1	13.75	樋口 隼人	筑波大学	埼玉	2024/4/27
	2	13.76	廣富 葵士	国際武道大学	北海道	2024/11/9
	3	13.82	石川 周平	富士通	東京	2024/8/11

種目	順位	記録	氏名	所属	陸協	期日
女子100m	1	11.75	三浦 由奈	セレスポ	東京	2024/8/11
	2	11.81	田路 遥香	中央大学	東京	2022/8/11
	3	11.85	深澤あまね	中央大学	長野	2024/8/17
女子200m	1	24.67	田路 遥香	中央大学	東京	2022/8/11
	2	24.68	大島 愛梨	中央大学	栃木	2022/8/11
	3	24.71	竹内 爽香	渡辺パイプ	東京	2024/8/11
			中村 真由	早稲田大学	東京	2024/8/11
女子100mH	1	13.19	芝田 愛花	エディオン	大阪	2023/8/26
	2	13.34	寺田明日香	ジャパンクリエイト	大阪	2024/8/11
	3	13.36	島野 真生	日女体大院	東京	2024/8/17

### 【SANO スプリント主催大会上位記録 (SANO レコード)】

好記録誕生・トップアスリート集結の大きな要因は会場となる「清酒開華スタジアム」にあるといえます。

競技場建設の際に1年にわたり風向を調査し、ホームストレートが追い風になりやすい方角を突き止めた上で、清酒開華スタジアムは完成しました。さらに、走路（サーフェイス）は高反発を生み出す素材が用いられています。また、佐野市のバックアップにより、定期的に修繕が行われ、環境整備が進められるなど、アスリートにとっての「追い風」を生み出しています。

また、施設面での「走りやすさ」に加え、招集完了時刻から競技開始時刻までを短くし、招集完了後もスパイクを履いての練習が可能な会場レイアウトを採用するなど、競技者の皆さんが良い状態でスタートにつけることを目指した運営を行っています。

## 2. これまでの SANO スプリント

### 《2021 年シーズン》

初年度となった 2021 年は、SANO スプリントは「栃木県スプリント記録会」として産声をあげました。コロナ禍で陸上競技を含めたスポーツ全般に大きな制限がかかるなか、5月に第1回目を開催しました。

現在の SANO スプリントと同様に、短距離種目に限定し、100m においては一次レースと二次レースを設けて実施しました。誰でも複数レースに出場できる方式は、大学が行う競技会などでは一般的ですが、栃木県内ではあまり実施されていません。多くの競技会が、予選を突破しないと次のラウンド（準決勝や決勝）に進出（＝複数レースを経験）することができないということになります。

誰でも複数レースに挑戦できるということは、単純に記録に挑む回数が増えるだけでなく、最初のレースでの反省や課題を次のレースに生かすという試みが生まれることにもなります。参加者を対象にしたフィードバックアンケートにおいても「栃木県スプリント記録会」に対する満足度は高く、男子 100m における自己記録達成率の高さも相まって、手探りながら関係者にとって手応えを感じる「第1回目」となりました。

なお、男子 100m で最も良い記録を出したのは、当時栃木県登録をしていた地元選手・東田旺洋選手（栃木県スポーツ協会）でした（記録は 10 秒 33）。東田選手はこの 2 年後に SANO スプリントが実施することになる「2023 年 SANO トワイライトゲームズ」で現在の SANO レコードとなる 10 秒 10 の自己記録を更新し、その勢いのまま 2024 年のパリ五輪に日本代表選手として出場することになります。パリ五輪直後に行われた「2024 年 SANO トワイライトゲームズ」にはタイトなスケジュールにもかかわらず出場してくださるなど、SANO スプリントを彩る代表的な選手の一人です。

8月に行われた第2回大会では、参加者数が第1回大会から約2倍（318名⇒591名）に膨れ上がりました。第1回大会で好評を得られたと同時に、第2回大会が行われた8月上旬に競技会がないことが要因として考えられます。特に、大学生にとっては、秋の時期に行われる日本学生陸上（インカレ）に参加するための数少ない標準記録突破のチャンスにもなります。参加都道府県数も急増（12⇒27）するなど、注目度が高まっていることを実感させるものとなりました。



第2回栃木県スプリント記録会男子 100m・日本代表選手が並ぶ(6レーン佐藤選手7レーン水久保選手)

なお、第2回大会では直線種目のみの実施でした（100m, 60m, 110m/100m ハードル）。男子 100m の最高記録は前回同様・当時地元選手の水久保漱至選手（第一酒造）でした。奇しくも記録は 10 秒 33。東田選手と全く同じでした。水久保選手も後年、世界陸上の日本代表となり、2023 年に実施する「森永製菓 in ゼリー presents SANO スプリント」では現役日本記録保持者の山縣亮太選手を破ることになります。

### 《2022 年シーズン》

2 年目となる 2022 年度は大会名称を「栃木県スプリント記録会」から「SANO スプリント」に変更するとともに、年間を通して 4 回実施することになりました。大会名称の「SANO」については、佐野市という地域を前面に出しながら、①全国各地のトップアスリートに佐野に集ってもらい、②佐野から全国や世界に羽ばたいてほしいという願いを込めて採用したのになります。実施種目については男女の 200m を追加するなど、2024 年現在と同じ種目が整えられたシーズンとなりました。

5 月に実施した第 1 回大会では、鳥取陸上競技協会の新田専務理事にお越しいただきました。鳥取陸上競技協会といえば、男子 100m の日本記録をはじめ、数々の好記録を生み出してきた直線スプリント種目特化型競技会「布勢スプリント」を主催しています。同大会実施の経緯や運営上の工夫点など様々なノウハウを伝授していただきました。それが早速花開いた形になったのが 8 月に実施した第 2 回大会です。

第 2 回大会には、女子 100m ハードルの元日本記録保持者である寺田明日香選手や直前に行われた世界陸上オレゴン大会でアジア新記録を出して 4 位に入賞したリレーメンバー 3 名を筆頭に 8 名の日本代表経験者が大会にエントリーし熱戦が繰り広げられました。トップアスリートに加え、大会 MC として世界陸上ロンドン大会銅メダリストの藤光謙司氏と ASICS ナビゲーターとして各種イベントで活躍している宇佐美菜穂氏をお招きし大会を彩っていただきました。選手紹介や競技の見所、藤光氏によるトップアスリートならではの視点を織り交ぜた解説で会場は大いに盛り上がりました。また、競技の合間には MC 二人が司会を務めながら、リレーメンバーの表彰セレモニーを行い会場は温かい声援と拍手に包まれました。大会終了後には地元の小学生を対象としたかけっこ教室を行い、子どもたちが楽しく陸上競技にふれあう機会を設けることもできました。講師はレースを終えたばかりの寺田選手が務め、参加生徒は日本代表選手から直接指導を受けることができるものでした。この大会は地元メディアにも大きく取り上げられることとなりました。



下野新聞(2022年8月18日)

## 《2023年シーズン》

迎えた3年目。第2回 SANO スプリントにおいて大会スポンサーとして森永製菓が名乗りを上げ、大会名称を「森永製菓 in ゼリーpresents 令和5年度第2回 SANO スプリント」として開催しました。地方における陸上競技の大会において、大会名に企業名が入るのは異例といえます。注目度が高まる中、大会キャッチコピー「スプリントは SANO だ！」を象徴する選手の出場が決まりました。男子100m で9秒95の日本記録をもつ山縣亮太選手（SEIKO）です。前年に膝の出術をした山縣選手にとって2023年は復帰の年でした。4月にレース復帰をすると、専門外である200mのレースに多く出場しながら実戦経験を積んでいきました。その山縣選手が「本職」である100mで記録を狙いにきたのが SANO スプリントでした。大会当日は山縣選手の姿を一目見ようと観客が押し寄せ、スタンドは超満員となりました。山縣選手と同じレースには、世界選手権日本代表選手で地元企業・第一酒造所属の水久保選手も名を連ね、見ごたえ十分なレースが披露されました。



日本記録保持者・山縣選手(右から二人目)と世界陸上日本代表水久保選手(左から二人目)が激突

## 《2024年シーズン》

各大会名にスポンサー各社名等を冠し、第1回目を「清酒開華 presents SANO スプリント」第2回目を「森永製菓 in ゼリーpresents SANO スプリント」、第3回目を「6月の森 presents SANO スプリント」として実施しました。さらに、これらを全て世界陸連が定めるワールドランキング対象大会（WRk）として開催しました（なお、8月に実施した SANO トワイライトゲームズも WRk として実施）。

「清酒開華 presents SANO スプリント」では、デフリンピック金メダリストの佐々木琢磨選手（仙台大学 TC）が出場しました。佐々木選手は100m で自己記録10.59の日本ろう記録保持者です。2023年出場された鹿児島国体と同様に、ピストルの音ではなく、スタートランプを用いての競技参加となりました。

200m には、リオ・パラリンピック銅メダリスト（義足）佐藤圭太選手（トヨタ自動車）が出場。同じく、200m には東京五輪日本代表の山下潤選手（ANA）も出走し、その後に行われるインターハイの200mを大会新記録で制する地元高校生・若菜敬選手（佐野高）と激突するなど、白熱のレースが展開されました。そのようななか、特に会場を沸かせたのは草野誓也選手（ACCEL）です。男子100mAM レースを10秒38の出場選手中最高タイムで走ると、PM レースではさらに記録を伸ばし

自己新記録である 10 秒 20 をマークしました。35 歳 3 か月でのこの記録は、日本人史上最年長での 10 秒 30 切りという歴史的なものでした。



デフリンピック金メダリスト・佐々木選手(中央・スタートランプを活用)

続く「森永製菓 inゼリーpresents SANO スプリント」では、SANO スプリントで最多となる 1100 名を超える参加者にエントリーしていただきました。男子 100m のランキングトップはユーチューバーとしても活躍中（チャンネル登録者数 3 万人、2024 年 12 月現在）の矢橋寛明選手（キョウエイ）。実力を発揮し、PM レースでは同タイムながら全体トップの 10 秒 26 をマークしました。また、同じくユーチューバーの大貫健太選手（チャンネル登録者数 4 万人、同）率いる BTP がチームとして出場し、矢橋選手と揃ってチャンネル内で SANO スプリントを取り上げてくださるなど、大きな反響のある競技会となりました。

激励選手として 5 名（女子 100m 高桑早生選手、男子 200m 今泉堅貴選手・山下潤選手、男子 110mH 石川周平選手、女子 100mH 寺田明日香選手）が出場するなど、男女の各種目に日本のトップ選手が揃う、実力者が集結した大会ともいえます。

100mAM 372名	100m申込上位3傑
100mPM 253名	①10.26②10.30③10.32
200m 114名	200m申込上位3傑
110mHAM 24名	①20.69②20.79③20.84
110mHPM 23名	110mH申込上位3傑
110mJH 5名	①13.36②13.72③13.90
60m 8名	
100mAM 75名	100m申込上位3傑
100mPM 56名	①11.58②11.59③11.81
200m 24名	200m申込上位3傑
100mHAM 17名	①24.08②24.34③24.55
100mHPM 12名	100mH申込上位3傑
	①12.91②13.08③13.26

各種目に実力者が集い、過去最多の参加者となった 2024 年第 2 回 SANO スプリント



### 3. 運営面における取り組み

多くの参加者に彩られてきた SANO スプリントですが、運営面における特徴が2つあります。一つ目はレース動画の提供です。チームで参加している場合、仲間が撮影してくれたレース動画を用いて、自身の課題やパフォーマンスを確認することができます。しかしながら、大会参加者は必ずしもチーム単位というわけではありません。遠方から個人で参加される選手も少なくなく、レースの振り返りは内観のみに頼る場合も多くあることが考えられます。そこで、SANO スプリントでは可能な限りレース映像を撮影し、ユーチューブを活用して動画の提供を行っています（レース動画撮影およびサイト等への掲載については大会エントリーの際に参加者の内諾を得ています）。



SANO スプリントユーチューブチャンネルより

二つ目は地元高校生の大会ボランティア参加です。大会の雰囲気づくりに欠かせない音響関係やアナウンス、各審判部署の補助などを担っていただいています。大会ボランティアは陸上競技経験者に限りません。スポーツの経験があまりない生徒も一緒になって SANO スプリントを盛り上げています。スポーツには「する」「見る」「支える」といった幅広いかわり方がありますが、ボランティアの高校生もまた、大会スタッフや他校の生徒と交流しながらスポーツを支え、スポーツの価値に触れる経験をしています。さらに、大会終了後はボランティアだけの特別レースを行い、実際に100mを走る取り組みも行っています。選手たちも、大会を支えてくれた労いを込め、温かい声援に包まれるものになっています。



ボランティア補助員特別レース

#### 4. 今後に向けて

一般社団法人 SANO スプリントが様々な競技会を開催して4年目のシーズンが終わろうとしています。フィードバックアンケートでは、参加選手・観客・審判の方々から好意的な意見をいただくとともに、スムーズでアスリートゼンタードな競技会運営に向けた様々なアドバイスやご意見をいただいています。これらを生かし、運営スタッフだけでなく、参加選手とも協力・連携しながらより良い競技会に発展させていきたいと考えています。

また、全国各地からの参加があることを生かし、地域の魅力も同時に伝えていける役割も担っていききたいと考えています。食や伝統・文化など地域がもつ魅力を取り入れ、関係各機関と連携した運営を模索していきたいと思えます。

県内に留まらず全国各地の選手が集い、競い合うとともに交流を重ねる状況は、まさに地域活性化につながるものであり、社会がスポーツに求める役割を具現化しているものといえます。陸上競技の新たな振興に関わる活動を通じて、より豊かで明るい社会が実現されることを目指し、地域とともに発展と成長を続けていきたいと考えます。挑戦し続ける選手と同じように、支える我々も挑戦を続けていく。まだ誰も見たことのない、素晴らしい未来の風景を創り出すことを目指して。

参考：2024年第2回 SANO スプリント参加団体（中学・高校を除く）

##### 【企業・事業者】

ABC ロジテム、宇都宮記念病院、鹿沼市役所、大串火薬店、第一酒造

ANA、JAL、NTT 東日本、アットホーム、エディオン、キョウエイ、ジャパソクリエト、スズキ、セレスポアトレ、大阪ガス、草津電機、大和ハウス、渡辺パイプ、東京ガスエコモ、日星電気、日油富士通、武蔵野グループ

##### 【大学】

ウェルネス大、環太平洋大、群馬大、慶應義塾大、國學院大、国際武道大、順天堂大、城西大秀明大、駿河台大、仙台大、大東文化大、高崎経済大、筑波大、帝京大、東京大、東京学芸大、東京女子体育大、東京理科大、東北大、東洋大、日本大、日本女子体育大、福島大、平成国際大法政大、山形大、横浜国立大、流通経済大、早稲田大、宇都宮大、国際医療福祉大、作新学院大白鷗大

##### 【クラブチーム】

EINHORN、koya project、LINKS、OCOSITEI、RAIZE、SANO SP AC、TMRC、TRAINI、upset、リスRT AccelTC、Again、Bloom PJT、BTP、CS アセット、EAGLERUN、EiferAC、FABLA、FA-JETS、FORZA、GSAC Indefinite RC、JAWS、LST、MCL、METAC、MUSCLE TRIBE、OGS、ROOTS TOKYO、S A K U R A、Setech STARTLINE、TeamSSP、Tempest、UNITE、VICSS、XronosTC、からっ風、ビクトリーAC、レジェンズワイアクション、群大TF、群馬UAC、菜の花AC、埼大TC、山形TFC、昌平AC、水戸アスリート土気TFC、東海A.C.

##### 【個人登録】

栃木マスターズ、栃木陸協、茨城陸協、桐生市陸協、群馬陸協、埼玉マスターズ、埼玉陸協、上尾市陸協、千葉陸協、川崎市陸協、東京陸協、奈良陸協